

美容液たっぷり  
豊潤マスク

ザ アンプルマスク

3枚入 1,069円(税込)

Our solution, for all  
**MEDIHEAL**



株式会社セキド

<http://www.sekido.com/>

MEDIHEAL & SEKIDO present

イム・ユンチャン  
ピアノ・リサイタル

Yunchan *Lim* 임윤찬 Piano Recital

2024年2月5日(月) 19:00開演 東京オペラシティ コンサートホール  
7:00p.m., Monday, February 5, 2024 at Tokyo Opera City Concert Hall

2024年2月10日(土) 19:00開演 ミューザ川崎シンフォニーホール  
7:00p.m., Saturday, February 10, 2024 at Muza Kawasaki Symphony Hall

主催: ジャパン・アーツ / 神奈川芸術協会 (2/10公演) 特別協賛: MEDIHEAL & SEKIDO

後援: 駐日韓国大使館 韓国文化院 (2/5公演) 協力: ユニバーサル ミュージック ナクソス・ジャパン



## Program

ショパン: 3つの新しいエチュード	F. Chopin: 3 Nouvelles Études
第1番 へ短調	No.1 in F minor
第2番 変イ長調	No.2 in A-flat major
第3番 変ニ長調	No.3 in D-flat major
ショパン: 12のエチュード Op.10	F. Chopin: 12 Études, Op.10
第1番 ハ長調	No.1 in C major
第2番 イ短調	No.2 in A minor
第3番 ホ長調「別れの曲」	No.3 in E major “Tristesse”
第4番 嬰ハ短調	No.4 in C-sharp minor
第5番 変ト長調「黒鍵」	No.5 in G-flat major “Black Keys”
第6番 変ホ短調	No.6 in E-flat minor
第7番 ハ長調	No.7 in C major
第8番 へ長調	No.8 in F major
第9番 へ短調	No.9 in F minor
第10番 変イ長調	No.10 in A-flat major
第11番 変ホ長調	No.11 in E-flat major
第12番 ハ短調「革命」	No.12 in C minor “Revolutionary”

\* \* \* \* \*

ショパン: 12のエチュード Op.25	F. Chopin: 12 Études, Op.25
第1番 変イ長調「エオリアン・ハープ」	No.1 in A-flat major “Aeolian Harp”
第2番 へ短調	No.2 in F minor
第3番 へ長調	No.3 in F major
第4番 イ短調	No.4 in A minor
第5番 ホ短調	No.5 in E minor
第6番 嬰ト短調	No.6 in G-sharp minor
第7番 嬰ハ短調	No.7 in C-sharp minor
第8番 変ニ長調	No.8 in D-flat major
第9番 変ト長調「蝶々」	No.9 in G-flat major “Butterfly”
第10番 ロ短調	No.10 in B minor
第11番 イ短調「木枯らし」	No.11 in A minor “Winter Wind”
第12番 ハ短調「大洋」	No.12 in C minor “Ocean”

### イム・ユンチャン 2024年日本公演

2月1日(木)	【東京】	東京芸術劇場	主催:(公財)東京都歴史文化財団 東京芸術劇場 ★
2月3日(土)	【名古屋】	三井住友海上しらかわホール	主催:CBCテレビ
2月5日(月)	【東京】	東京オペラシティ コンサートホール	主催:ジャパン・アーツ
2月6日(火)	【川崎】	ミュゼザ川崎シンフォニーホール	主催:神奈川芸術協会 協力:ミュゼザ川崎シンフォニーホール(川崎市文化財団グループ)
2月10日(土)	【川崎】	ミュゼザ川崎シンフォニーホール	主催:神奈川芸術協会/ジャパン・アーツ
2月11日(日・祝)	【大阪】	ザ・シンフォニーホール	主催:ザ・シンフォニーホール

★亀井聖矢(ピアノ)とのデュオ公演

## Profile



© Lisa-Marie Mazzucco

### イム・ユンチャン (ピアノ)

Yunchan Lim, Piano

「イムはこの曲の魂に到達した」—— ラ・セーナ

「イムは百万人に一人の才能である」

—— ダラス・モーニング・ニュース

2022年第16回ヴァン・クライバーン国際ピアノコンクールにおいて、史上最年少(18歳)でゴールド・メダルを受賞、併せて聴衆賞、最優秀新曲演奏賞を受賞。世界中の聴衆を驚嘆させ、わずか18歳で流星のように国際的スターダムに駆け上がった。審査委員長のマリン・アルソップは「ユンチャンは深い音楽性と驚異的なテクニック

を有機的にひとつにすることができる、類稀なアーティストである」と評した。

決勝で演奏したラフマニノフ:ピアノ協奏曲第3番の演奏動画はYouTubeを介し世界中で1000万回以上も視聴された。またこの演奏は、ニューヨーク・タイムズによって2022年のクラシック音楽演奏トップ10に選ばれた。一人の批評家は「その後の拍手喝采は終わりなく続いた。ひとりのスターが我々の目の前に出現したのだ」(スィーンアンドハード・インターナショナル)と評した。

優勝したヴァン・クライバーン・コンクールで演奏したリストの超絶技巧練習曲は、2023年7月にリリースされ、ビルボードのトラディショナル・クラシック・アルバムのチャート5位に選出された。ベートーヴェン:ピアノ協奏曲「皇帝」は、2022年にドイツ・グラモフォンからリリース。また韓国KBSの「2020韓国の若き音楽家達」のレコーディングに参加した。これまでにニューヨーク・フィル、ロサンゼルス・フィル、シカゴ響、ルツェルン響、KBS響、東響等と共演。指揮者ではマリン・アルソップ、ジェイムズ・ガフィガン、ミハエル・ザンデルリンク、チョン・ミョンフン等と共演している。2023/24シーズンにはロイヤル・フィル、ミュンヘン・フィル、ボストン響、ソウル・フィル、仙台フィル、フランス放送フィル、バリ管との初共演が予定されている。リサイタルではウイグモアホール、コンセルトヘボウ、サントリーホール、ソウルアーツセンターでデビューを果たしており、来シーズンにもカーネギーホール、ライブツィヒ・ゲヴァントハウス、ヴェルビエ音楽祭、ケネディセンター等主要な舞台での出演が予定されている。

韓国の始興市生まれ。7歳でピアノを始め、翌年にソウルアーツセンターの音楽アカデミーに入学。13歳で韓国芸術英才教育院のオーディションに合格し、教師・指導者のソン・ミンスに出会う。翌年2018年、若いピアニストのためのクリーヴランド国際ピアノコンクールで2位及びショパン特別賞を受賞。同年のクーパー国際コンクールでは最年少の参加者として注目を集め、3位と聴衆賞を獲得。クリーヴランド管弦楽団との共演の機会を提供される。2019年には最年少の15歳で韓国のイサン・ユン国際コンクールで優勝及び二つの特別賞を受賞。韓国国立芸術大学の2年を修了し、現在はニューイングランド音楽院でソン・ミンスの下で学んでいる。

Yunchan Lim,  
Piano



---

---

## Program Notes

---

---

原 明美(音楽評論家)

Akemi Hara

19世紀、音楽史で言うロマン派の時代には、ピアノの演奏技術も表現性も、飛躍的に発展した。また、当時の音楽家たちの多くは、作曲した曲を自分で演奏した。優れたピアニストは、ピアノのための名曲も書き残したのである。ポーランドのワルシャワ近郊ジェラゾヴァ・ヴォラに生まれ、39年間の生涯の後半を主にフランスで送ったフレデリック・ショパン(1810-49)は、その代表的な一人であり、同世代のフランツ・リストと共に、パリをはじめとしてヨーロッパ各地で、名ピアニストとして人気を博した。

ショパンにとって、ピアノという楽器は最も重要な表現手段であり、作品の大半はピアノ曲だった。従来のジャンルや様式について、表現の可能性が深く追求され、エチュード(練習曲)にも、彼の稀有の創造性が反映されている。ショパンのエチュードは、「12のエチュード」Op.10、「12のエチュード」Op.25と、作品番号のない「三つの新しいエチュード」、以上全部で27曲が残されており、特にOp.10とOp.25は、ピアニストを目指す人たちにとって必修の曲集である。技術的にも音楽的にも難曲が並び、内外の音楽コンクールの課題曲などにも用いられ、演奏者の技量が試される。各曲にピアノのさまざまな技巧が盛り込まれているだけでなく、メロディーを歌うなど音楽的な修練も含み、ショパンならではの多彩にして魅力的なピアニズムが散りばめられている。つまり、これらのエチュードは、技術を磨く訓練に留まらず、ピアニストのテクニックと表現力を聴き手に披露することも目的とし、通して聴く鑑賞作品としての価値が高い曲集であり、まさに、コンサートのためのエチュードと言えるだろう。

### ショパン：三つの新しいエチュード

1839年ごろの作と推定されている「三つの新しいエチュード」は、モシュレスとフェティスの編集した練習曲集に収められて、ショパンが世を去った後の1840年に出版され、さらに、1841年に単独でも出版された。右手と左手での異なるリズムや、声部の弾き分けなど、技術的な課題が組み込まれているが、音楽的にも魅力的な小品であり、3曲から成る。なお、第2番と第3番の順序はエディションによって異なるが、今回イム・ユンチャンは、次の曲順で演奏するという。

第1番：へ短調 第2番：変イ長調 第3番：変ニ長調

### ショパン：12のエチュード Op.10

1829～33年に作曲。ショパンは20歳までの間に、この充実した練習曲集の大部分を書きあげていたというから驚きである。そして、1833年に出版され、フランツ・リストに献呈された。一部の曲については、曲想の特色(第5番「黒鍵」)や、曲にまつわるエピソード(第3番「別れの曲」、第12番「革命」)により、後年、愛称がつけられた。また、要求された技巧で呼ばれる曲(第2番)もある。

半音進行で動くメロディーのなかに、指の交差など困難な運指が含まれた**第2番**は、「半音階のエチュード」。メロディーの美しさが印象的な**第3番**は、ショパンを描いたドイツ映画「別れの曲」(1934年)の音楽として用いられたことから、「別れの曲」という愛称で呼ばれるようになった。**第5番**は、ほとんどピアノの黒鍵だけが使われていることから、「黒鍵」「黒鍵のエチュード」として知られている。そして、激しい曲想を持つ**第12番**については、次のようなエピソードが伝えられている。ポーランドをあとにしてウィーンへ赴いたショパンは、その後パリに渡るが、立ち寄ったシュトゥットガルトで、ワルシャワがロシア軍に鎮圧されて革命が敗北に終わったことを知った。そのとき祖国を想いながら、悲惨な運命に対する怒りをこめて作曲したのが、このエチュードだという。「革命」の名で呼ばれるようになったのは、このエピソードによるものだとされている。

全12曲の内訳は次の通りだが、今回のように通して演奏される場合、調の流れの美しさも注目されよう。平行調へ、属調または下屬調へ、或いは同主調へ、と続く場面が多い。

第1番：ハ長調 第2番：イ短調(「半音階のエチュード」) 第3番：ホ長調「別れの曲」 第4番：嬰ハ短調 第5番：変ト長調「黒鍵」 第6番：変ホ短調 第7番：ハ長調 第8番：へ長調 第9番：へ短調 第10番：変イ長調 第11番：変ホ長調 第12番：ハ短調「革命」

### ショパン：12のエチュード Op.25

Op.25は、1832～37年に作曲され、1837年に出版され、リストの恋人だったダゲー伯爵夫人に献呈された。「Op.10」と同じように、一部の曲は、曲想の特色により、後年、愛称をつけて親しまれるようになった(第1番、第9番、第11番、第12番)。また、要求された技巧で呼ばれる曲もある(第6番、第8番、第10番)。

第1番は、ハーブを想わせる繊細なタッチや牧歌的な曲想から、「エオリアン・ハーブ」または「牧童」と呼ばれている。第6番は、三度の重音が連続する「三度のエチュード」であり、第8番は、六度の重音が連続する「六度のエチュード」。蝶の優雅で軽やかな動きを想像させる**第9番**は、「蝶々」の愛称で知られる。第10番は、オクターヴの連続する「オクターヴのエチュード」。第11番は、その曲想から「木枯らし」の愛称で親しまれているが、主に右手に現れる細かな装飾的音型を滑らかに演奏することは、きわめて困難である。両手の分散和音がダイナミックな動きを続ける**第12番**は、おそらくは、その動きの壮大さが、大きな海原を連想させることによって、「大洋」と呼ばれるようになったのだろう。

全12曲の内訳は次の通りだが、やはり「Op.10」と同様、12曲が通して演奏される場合の、調の流れの美しさにも注目したい。

第1番：変イ長調「エオリアン・ハーブ」(または「牧童」) 第2番：へ短調 第3番：へ長調 第4番：イ短調 第5番：ホ短調 第6番：嬰ト短調(「三度のエチュード」) 第7番：嬰ハ短調 第8番：変ニ長調(「六度のエチュード」) 第9番：変ト長調「蝶々」 第10番：ロ短調(「オクターヴのエチュード」) 第11番：イ短調「木枯らし」 第12番：ハ短調「大洋」

【アーティストサポート】を通して、アーティストたちの活動をご支援いただき、ありがとうございます。  
時や国を超え「生きる力」を与えてくれる文化・芸術に、引き続きのご支援をお願い申し上げます。

ご支援をいただいた個人ならびに企業・団体の皆さま

<2023年度年間サポート>

F.A Y.A T.I 井上豊 今井良成 S.U 植原由起子 S.U M.E A.O K.O S.O 片山由美子  
河村はるみ K.K 木村美明 M.K 小室秀夫 N.S 新貝康司 N.S M.S 関根一祿 A.D 土屋涼子  
トゥルーラブ真智子 トゥルーラブ真凜 N.N 中島和 中野和枝 中村尚義 中村美穂 T.H N.H M.H  
平山美由紀 藤野盾臣 細沼康子 M.H 松尾芳樹 松田香 真野美千代 三橋祐太 J.M H.M H.Y S.Y 渡部伸子  
TDK株式会社 MEDIHEAL & SEKIDO コンツェルトハウス・ジャパン by 株式会社キタマ  
株式会社ソーシャルキャピタルマネジメント 株式会社ロジックアンドエモーション  
ライフプラン株式会社 Heart of the Earth株式会社  
ナレッジワーカーズインスティテュート株式会社 株式会社RINABO きづきアセット株式会社  
株式会社青林堂 日本パデレフスキ協会淡路  
(匿名希望 26名)

<ショパン・ピリオド楽器プロジェクト>

S.O 北村真 トゥルーラブ真智子 平山美由紀  
(匿名希望 4名)

<舘野泉バーステーププロジェクト>

Y.A 阿部将任・登美子 新井京子 池田光世 一柳吉子 A.I 遠藤一秀 大嶋早苗 大嶋浩美  
大谷恵美子 S.O 奥田三華 小畑裕子 木全恵美子 久保春代 M.K 黒川智恵美 黒住彰子  
斉藤久子 坂井和 佐々木晚子 菅原佳世子 鈴木早苗 R.T 田口雅子 田邊英利子 土谷美保子  
永作稔 中村恭子 中村康江 K.H 羽生賢次 林雄嗣・鈴子 福島晶子 堀田高秀 松田純子  
三上美智恵 光永育 K.M 山家七恵 S.Y K.Y 吉岡玲子 吉田和充・淳子  
舘野泉ファンクラブ東京 舘野泉ファンクラブ東北 タピオラの会 日本セヴラック協会 有限会社ムジカーザ  
NPO法人 Mプロジェクト スオミ・ピアノ・スクール研究会  
(匿名希望 20名)

<ニュークラシックプロジェクト>

浅岡尚子 岩井陸雄 上原啓子 小田島容子 K.K 久保千聖 雲然祥子 小池美喜 篠崎啓史 I.S T.S  
トゥルーラブ真智子 トゥルーラブ真凜 T.N 長谷部 宏行 秦勝重 T.H 林 路郎 細沼康子 牧野佳那  
松下泰之(マティビ) S.Y  
(匿名希望 14名)

2024年1月20日現在 敬称略



ご支援についての詳しい内容は、どうぞ下記へお問い合わせください。

株式会社ジャパン・アーツ アーティストサポート係 Tel.03-3499-7720

(平日11:00~17:00 年末年始を除く)

アーティストサポートの  
詳細はこちらを  
ご覧ください。

